

駄知小学校 「地域の中で育つ駄知の子」

教育目標 「心みがく子」

思いやりのある子



地域の施設で学ぶ

学校に隣接する、とき陶生苑や恵風荘、小学校附属幼稚園など、さまざまな施設で幅広い年代の方との交流活動を行っています。この活動を通して、思いやりと生きる姿を学びます。

よく学ぶ子



地域の伝統を学ぶ

美濃焼のまち・駄知町。駄知工業組合青年部の皆さんの協力の下、各学年での焼き物作りや夏休みにPTAが主催する陶芸教室で釉薬を掛けて焼くことを体験し、「ふるさと」の伝統を学びます。

たくましい子



地域の中で学ぶ

青少年育成健全委員会の「ふれあいキャンプ」(写真)や稲作など、地域の中でさまざまなことを体験しています。ふれあいキャンプでは、中学生のボランティアと共に地域で生きる力を学びます。

駄知小学校は、本年度から来年度にかけて校舎の耐震工事および大規模改修が行われています。安心・安全な校舎と新たな学習環境の中で、地域を愛し、地域と共に生きる子を育てる教育を進めます。

11月2日(土)に駄知中学校で開催される駄知校区「夢と絆のつどい」の全体会では、駄知青少年育成会、中学生の発表とともに6年生が上記の「学び」を発表します。

給食センター掲示板

給食センター(☎546195)

地産地消・スローフードを進めています

■地産地消

地産地消とは地元でとれた食材を地元で消費することで、安心・安全で新鮮な食材を摂取することや、流通コストやCO₂排出量の軽減につながります。学校給食では、できるだけ県内産のものを使用するよう努めています。主食のお米は、東濃地方で収穫されたコシヒカリを使用しています。パンやうどんに使われる小麦粉や毎日飲む牛乳も全て県内産です。市内で作っている野菜も積極的に使用しており、その使用量は、地域の生産者の方々の努力によって年々増加しています。

■スローフード

学校給食でもう一つ大切にしていることに「スローフード」があります。スローフードとは伝統的な食材や料理、質のよい食材を守ること、それを提供する生産者を守ること、消費者に味の教育を進めることです。さまざまな行事食、郷土料理、昔ながらの味を取り入れて日本やこの地域に残る食文化を伝えていきたいと考えています。

五平餅・味ごはんなどの郷土料理、マコモダケ・あゆなどの地域ならではの食材を取り入れています。

